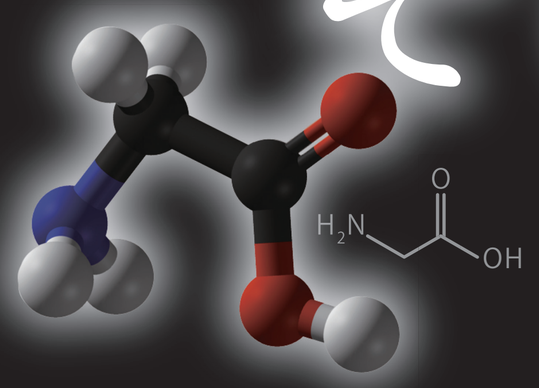
京都産業大学 神山天文台 天文学講座

2018
第1回

彗星と海、そして生命



太陽系の中を長い楕円軌道を描いてめぐる無数の彗星（ほうきぼし）。その正体は私たちの太陽系を作った「微惑星」と呼ばれる小さな塊の名残りです。いまでも時折、太陽に近づく彗星が明るく長い尾をたなびかせることがあります。そんな彗星が、実は地球の海のもとになったという説があります。更に、彗星に含まれていた様々な物質が、地球の生命の源になっていた可能性まであるのです。

講演では、こうした最新の研究成果についてお話しします。

講　師

河北 秀世

神山天文台長、本学理学部長・教授

専門は太陽系天文学。
主要研究テーマは彗星から探る太陽系の起源。

2018年
5月19日（土）
15:00－16:30

会場	京都産業大学 神山天文台 地下１階 ホール
料金	無 料 ※予約不要・直接会場へお越しください。
対象	中学生 以上

夜間は天体観望会を開催します（19：00～21：00）。※悪天候時は宇宙の３Ｄ映像上映会を開催

主　　催　京都産業大学　神山天文台
そ の 他　講座終了後には「アストロノミー・カフェ」（16：30～17：30）を開催します。
　　お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。
問 合 せ　京都産業大学　神山天文台　☎075-705-3001　https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/

むすんで、うみだす。
京都産業大学